人文書・歴史書ご担当者　様

有志舎の新刊です。2015年12月下旬発売

日韓民衆史研究の最前線

―新しい民衆史を求めて―

アジア民衆史研究会・歴史問題研究所　編

A5判・ハードカバー・400ページ　　本体価格 6,400円

日韓の研究者による国際交流から生まれた民衆史研究の最前線を提示！

（目次）

はじめに（深谷克己）
第Ⅰ部　方法論をめぐる葛藤：一　メディアを利用しての民衆史研究（須田　努）二　民衆運動史研究の方法（趙景達）　三　東学農民戦争に対する新しい理解と内在的接近（裵亢燮　、鶴園 裕・飯倉江里衣 訳）
第Ⅱ部　多様な民衆像：一　東学の布教と儒教倫理の活用（李京遠、趙 景 達 訳）　二　一八九四年 東学農民軍の郷村社会内での活動と武装蜂起についての正当性論理（洪東賢、伊藤俊介 訳）　三　甲午改革における警察制度改革と民衆の警察認識（伊藤俊介）　四　足尾鉱毒反対運動指導者田中正造における「自然」（中嶋久人）　五　民衆の徴用経験（佐々木啓）　六　産業化初期の韓国における労働福祉制度の導入と労働者の対応（張美賢、金 鉉 洙 訳）
第Ⅲ部　マイノリティからの視点：一　マイノリティ研究と「民衆史研究」（檜皮瑞樹）　二　民衆の暴力と衡平の条件（張龍経、伊藤俊介 訳）　三　神戸の港湾労働者と清国人労働者非雑居運動（青木　然）　四　孤独な叫び（蘇賢淑、金鉉洙）　五　「貞操」言説の近代的形成と法制化（韓奉錫、久留島哲 訳）　六　奄美諸島における「周辺」型国民文化の成立と展開（高江洲昌哉）
交流の歩み　アジア民衆史研究会二五年の「回顧と展望」（鶴園　裕・中西　崇）
おわりに（中嶋久人）

～版元から～

本書は、日本の「アジア民衆史研究会」と韓国の「歴史問題研究所」が協力して編集した共同論集です（韓国において韓国語版も刊行予定です）。日本と韓国の研究者が意見を交換しながら、最近の民衆史研究の方法を踏まえ、様々なテーマから一番新しい民衆史研究の成果を提示します。歴史認識問題で鋭い対立を示している日本と韓国ですが、それを乗り越えて共に一国史的発想の打破を試みる意欲的な挑戦です。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3－10、宝栄ビル 403　　（有）有 志 舎　電話:03-3511-6085

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊 ご担当 様	日韓民衆史研究の最前線 ー新しい民衆史を求めてー アジア民衆史研究会･歴史問題研究所　編 A5 判・ハードカバー、400 ページ 本体価格 6,400 円 新刊　ISBN978-4-903426-00-6　C3020	アジア史（近代） 日韓関係史 弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。

ご注文は　有志舎　担当：永滝（ナガタキ）まで　FAX：０３－３５１１－８４８４

当社商品の取扱取次はトーハン・ＪＲＣ・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、ＪＲＣからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信ください。